

HSK テスト対策

神谷俊之

4月の後半ごろから昼間は半そで半ズボンでいられるぐらいに暖かくなりました。なので天気の良い日には、たまに友達と公園に行って散歩などをしています。

ついこの前 HSK の申し込みをしました。HSK とは中国語能力検定試験と言い、中国語を勉強している外国人などを対象にした試験です。私と一緒に留学している友達なども受ける予定です。試験日は5月12日ともうすぐなので毎日頑張っています。

今回のレポートでは HSK 対策に向けての私の勉強方法について紹介したいと思います。私が使っているテキストブックは HSK4 級の問題集です。この問題集は全部で 10 回分のテストがありテスト対策にとっても役に立ちます。しかし、この対策本は中国の通販サイトで買ったため、問題だけではなく答えの解説まですべてが中国語です。そのため解説の意味が分からず、答え合わせをする際に問題を解くよりも時間を費やしてしまうことがあります。しかし、先生が言うには「解説の意味が分からないときは、その解説を調べることでその問題の本質や苦手分野が確認できる、時間がかかっても一つ一つ調べるのが大切だ」と教えてもらいました。私は日本人なので問題を見たときに大体の意味を予想することが出来ます。そのため完全に問題を理解していなくても問題を解くことができ、自分の読めなかった漢字や、意味の分からない単語を後で調べる習慣がだんだん薄れていました。しかし、先生のアドバイスに沿って答え合わせの時間を多く費やしたお陰で、今では模擬テストの点数が良くなっています。このことは、漢字を使わない国から来ている学生にとっては当たり前のことですが、母国語に漢字のある私は少し甘えていたのかもしれない。まだ不安もありますが、自分が満足できるまでしっかり対策をしていきたいと思います。

最後に4月24日は崔老师(崔先生)の誕生日でした。崔老师は精读(精読)の先生で生徒からとても人気があります。先生の授業はとても進むのが早いので、少しも気を抜くことが出来ません。しかし、分からないことがあれば授業外でも生徒の質問に答えてくれるので、その日に分からなかった問題を次の日に持ち越すことなく、その日の内に理解することが出来ます。そのため多くの生徒が先生を慕っており、日ごろの感謝を込めて私たちは色紙をプレゼントしました。この色紙は生徒一人一人が先生への思いを書いたもので、先生はとても嬉しそうで良かったです。



崔老师に花束を贈った時



崔老师とクラスメイトとの集合写真